■第43回須賀川市釈迦堂川花火大会

すかがわの夜空に咲き誇れ

市釈迦堂川花火大会実行委員会事務局（観光交流課内）☎(88)9144

夏の恒例イベント、市釈迦堂川花火大会を開催します。音楽創作花火や「須賀川市×M78星雲 光の国」姉妹都市スターマインなど、市制施行70周年を迎えた、須賀川の夜空を彩る華麗な花火をお楽しみください。

迫力満点の花火ショー

日時　8月24日(土)　午後7時打ち上げ開始(メモリアル花火は午後6時40分)
※雨天決行、荒天中止
打ち上げ会場　市民スポーツ広場

交通規制にご協力を

午後3時以降、会場周辺の道路は、順次、交通規制となります。規制区域内は、車両の出入りは一切できません。詳しくは、下の図をご覧ください。

また、午後4時以降「未来大橋」の前後100メートルの東部環状線の路上は、有料観覧席になりますので、場所取りはおやめください。

未来大橋は、安全対策のため、人も車も通行できません。有料観覧席などに向かう際は、経路を確認し、時間に余裕を持って移動してください。

マナーを守って楽しい1日に

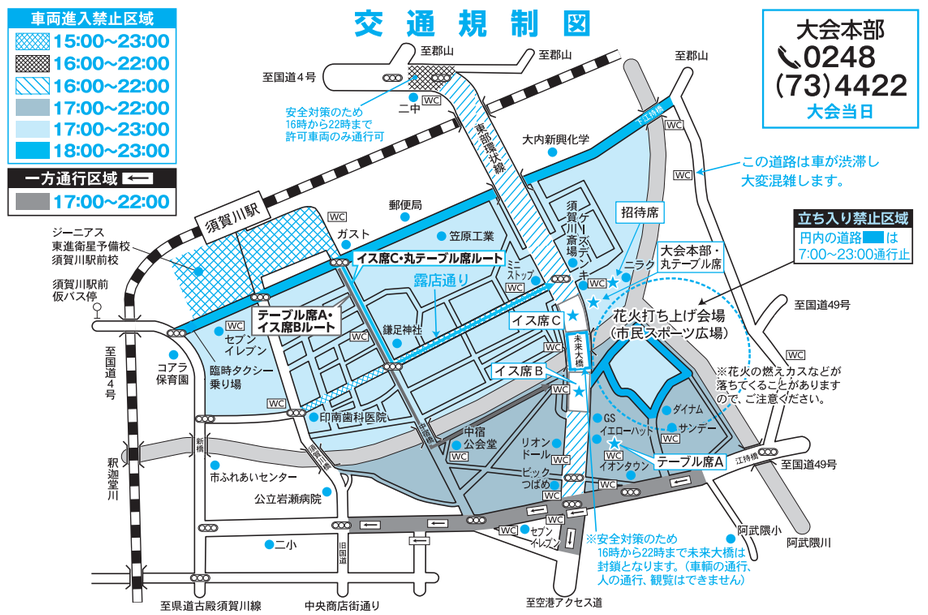
▼緊急車両の通行の妨げとなる路上駐車
▼会場や周辺でのドローンの操縦や飛行
▼ごみのポイ捨て
※ごみは各自で持ち帰るようお願いします。

JR須賀川駅を利用される人へ

現在、須賀川駅改修工事により、ホームが狭くなっています。混雑が予想されますので、利用の際は誘導員の指示に従ってください。

清掃活動にご協力ください

大会翌日の午前6時から、会場周辺の清掃活動を行います。市民の皆さんも、清掃にご協力ください。詳しくは、大会実行委員会にお問い合わせください。



■流域治水の取り組み

一緒に水災害に備えよう

道路河川課☎(88)9149

激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、阿武隈川本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策「阿武隈川水系流域治水プロジェクト」を策定し、国や県をはじめ、流域のあらゆる関係者の協働による取り組みを推進しています。「流域治水」の取り組みを知り、水災害に備えましょう。

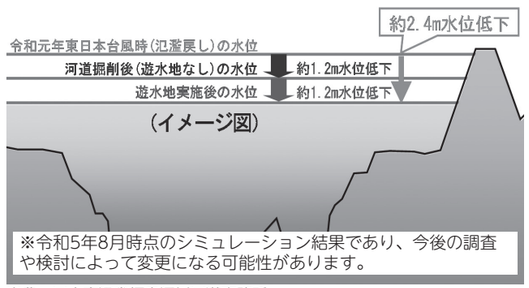
流域治水とは

流域治水とは、河川の護岸や堤防を整備するなどの行政の取り組みと合わせて、地域の企業や住民の協力を得ながら、一緒に水災害に備えていく考え方です。

流域治水の取り組み

阿武隈川上流遊水地群の整備　国土交通省は、阿武隈川上流（鏡石町・矢吹町・玉川村）に約350ヘクタールの大規模な遊水地群の整備を進めています。遊水地群は、洪水時に河川の水を一時的にため込むことで、その地域と下流域の浸水被害の軽減に大きな効果を発揮します。遊水地群の整備には、多くの家屋の移転や広大な土地が必要となるため、地域の皆さんの理解や協力を求めながら、令和10年度の完成を目指しています。

河川整備の実施　河川の断面を広げる河道掘削や堤防の整備など、安全に河川の水を流すための対策をしています。この対策と遊水地群の整備により、本市付近では約2・4メートルの水位低下効果が見込まれます。



出典：国土交通省福島河川国道事務所

防災・減災の取り組み

洪水・土砂災害ハザードマップ　大雨によって河川が増水し、堤防の決壊と越水が発生した場合に想定される浸水範囲や、各地区の避難所などを示した地図を作成・配布しています。今年5月の水防法の改正に伴い、想定最大規模降雨の見直しや、雨水出水浸水想定区域を新たに指定しました。

西川中央公園の再整備　浸水被害の軽減や避難時間の確保のため、大雨時に雨水をためられるよう公園の再整備を行いました。平常時は、地域の皆さんの多様な活動拠点として利用できます。

出前講座　水防・避難に関して必要な知識の習得や防災意識の啓発のため、町内会や自主防災組織、市内教育施設の児童・生徒を対象とした防災講話などを行い、日頃からの防災意識の向上を図っています。

今日からできる流域治水

大雨が予報される際には、事前に側溝の詰まりを取り除き、備えましょう。また、災害に対する知識を深めたり、大雨が降っているときは、お風呂の水を流さないようにし、下水道から雨水があふれるのを防ぐことや、防災情報を収集したりすることで、迅速な避難行動につなげるなど、日常に流域治水を取り入れ、水災害に備えましょう。

道路の法面（のり）を守りましょう！

道路の法面は、道路を守るために大切です。田や畑などの耕作地が道路側に広がることで、道路の法面が急勾配になっている箇所が見受けられます。法面が急勾配になると道路が崩れやすくなりますので、法面の保護にご協力ください。

また、8月は「道路ふれあい月間」です。この機会に道路の重要性を思い返し、安全に正しく、きれいな利用を心掛けましょう。

急勾配のため崩れた法面

☞道路河川課☎(88)9148
農政課☎(88)9140